

MULTIPLEX

PARKMASTER 3D パークマスター3D キット 組み立て補助説明書

当説明書は、キットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。
各国語版の「GB」のページ(P15～26)が英語表記です。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ラジコン飛行機は取扱いを誤ると自分、及び他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れず
に最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の
事故に備えてください。



警告 注意 安全のための確認

- 1) 本機体は中、上級者向けの機体で、入門者の単独飛行は困難です。
経験のあるフライヤーに指導を仰いでください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、
無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。
特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後には翼がズレたり搭載物が移動している可能性が
あります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーター
コントロールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを
接続してください。
守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転して危険な状態になります。
モーターのスピードコントローラーの取扱いも熟知してください。
- 4) 機体を持つ時は受信機スイッチの ON - OFF に関わらず、プロペラに触れないように保持して
ください。万一のプロペラの回転に注意してください。
- 5) 機体を離陸させる時は人に向けてはいけません。手投げの場合も人を背後にした向きで
手投げしてください。
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なって
ください。熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなりパワーが低下します。
- 7) 機体は高温になる場所に保管しないでください。変形して各部の角度が狂い正常な飛行が
できなくなり危険です。特に夏期の車中にはご注意ください。

キット内容のチェック

各国語版の説明書 P19 のパーツリストに沿って欠品がないか調べます。
もし欠品や破損品がある場合は ハイテックマルチプレックスジャパン迄ご連絡ください。

推奨搭載メカ等

- ・送信機: OPTIC6, OPTIC6SPORT 等 6ch以上のフラップロン機能等を有する送信機
- ・受信機: Hitec NEUTRON 6S 重量 16g
- ・サーボ: Hitec HS-65HB × 4 重量 11.2g トルク 2.2Kg/cm

パワーユニット(別売)

パークマスター3D 用パワーユニット(品番 332638)

- ・モーター: (KV890)
- ・プロペラ: 11x5.5
- ・スピードコントローラー: 容量 17A
- ・プロペラアダプター

動力用バッテリー: 3セル 950mAh、Li-Po 電池

- ・Li - Batt BX 3/1-950 (品番 157116)

機体データ

・全長	1000mm
・全幅	960mm
・翼面積 (FAI)	29 dm ²
・重量	525g
・翼面荷重 (FAI)	18 g/dm ²

接着剤

当製品の素材はELAPOR Formです。

中粘度又は高粘度の瞬間接着剤と硬化促進剤を使用してください。

図の中のCAと書いてあるのは瞬間接着剤の略号です。

硬化して固くなるエポキシ接着剤はあまり適しません。墜落の激しいショックで剥離する場合があります。これを防ぐためには接合面の表面を削り落とす意味でサンディングをして表面を荒らすと接着剤が染み込み、効果的です。

硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。

ELAPOR Formと成型プラ部品の接着は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤(ELAPOR Form側)が有効です。

ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナーで表面を荒らして乾燥した後に塗布します。

注意:瞬間接着剤は目に入ると危険ですので作業中はゴーグルで目を保護してください。

以下は各国語版の説明書イラストに沿って説明します。(P19～23の間)

図1、2 (Abb,1,2)

キットの構成イラストです。部品を確認してください。

14は補強用のグラスロッドです。必要な長さにカットして使用してください。

40	胴体補強用	745mm	2本
41	モーターマウント補強用	120mm	2本
42	主翼補強用	855mm	2本
43	エレベーター補強用	400mm	2本

図3 (Abb,3)

エレベーターを補強します。平らな台にエレベーターをおいてカットしたグラスロッドを接着します。

同じように裏側も接着します。接着剤は瞬間接着剤を使用します。

図のようにヒンジが入る場所にカッター等で溝を作っておきます。

図4 (Abb4)

まず、エレベーターホーンにロッドクランプを装着します。

スムーズに回転できるようにナットの締め具合を調整してください。

ナットのゆるみ止めはエポキシ接着剤の使用を推奨します。

エレベーターに組みあがったホーンを瞬間接着剤で接着します。

図5 (Abb,5)

図のようにラダーヒンジの入る溝を作ります。

図6 (Abb,6)

まず、ラダーホーンにロッドクランプを装着します。

スムーズに回転できるようにナットの締め具合を調整してください。

ナットのゆるみ止めはエポキシ接着剤の使用を推奨します。

ラダーに組みあがったホーンを瞬間接着剤で接着します。

図7,8 (Abb,7,8)

図のようにエルロンヒンジの入る溝を作ります。そして、エルロンホーンにロッドクランプを装着します。

スムーズに回転できるようにナットの締め具合を調整してください。

ナットのゆるみ止めはエポキシ接着剤の使用を推奨します。

エルロンに組みあがったホーンを瞬間接着剤で接着します。

左右のエルロンともに作業してください。

- 図 9,10** (Abb,9,10)
モーターマウントを接着します。次に機首補強用のグラスロッドを左右にともに接着します。
- 図 11** (Abb,11)
胴体補強用のグラスロッドを接着します。胴体が曲がらないように片側ずつ注意して作業してください。
- 図 12** (Abb,12)
ラダーサーボとエレベーターサーボを接着します。
5分エポキシまたはホットボンドの使用を推奨します。
- 図 13** (Abb,13)
図のようにタイヤストッパーワッシャーを主脚に挿入します。
プライヤー等を使用して24mmの位置まで押し込みます。
- 図 14** (Abb,14)
主脚サポートで挟み込んで胴体に接着します。
- 図 15** (Abb,15)
タイヤを装着しタイヤストッパーワッシャーを装着します。
タイヤがスムーズに回転するようにクリアランスをとってください。
- 図 16, 17** (Abb,16, 17)
図のように主脚カバーを接着します。スプリング効果を持たせるため胴体との接合部分は接着しないで下さい。
図の部分のみの接着にしてください。
- 図 18** (Abb,18)
左右の主翼パネルを接着します。抜れないように注意してください。
- 図 19** (Abb,19)
主翼下面に補強用グラスロッドを接着します。
- 図 20, 21** (Abb, 20, 21)
主翼上面にも補強用グラスロッドを接着しますが上半角をつけるためまず、方翼のみ接着し5mmの厚みのものを翼端に挟んでからもう片側の補強用ロッドを接着します。
- 図 22** (Abb,22)
図のようにエルロンヒンジの入る溝を作ります。
- 図 23** (Abb,23)
左翼にエルロンをヒンジ4個を使って接合します。
ヒンジの接着は瞬間接着剤で行ないます。
- 図 24,25,26,27** (Abb,24, 25,26,27)
胴体に主翼を通して、右翼のエルロンをヒンジ4個を使って接合します。
主翼と胴体との角度やエルロンと胴体のクリアランスに注意して胴体と主翼を接着してください。
- 図 28** (Abb,28)
左右のエルロンサーボを接着します。
5分エポキシまたはホットボンドの使用を推奨します。
リンケージロッドも組み込んでおきます。
- 図 29** (Abb,29)
水平尾翼を接着します。
胴体と90度になるように慎重に作業してください。
- 図 30** (Abb,30)
ヒンジ4個を使ってラダーを接合します。
接着剤は瞬間接着剤です。

図31 (Abb,31)

リンクージロッドを組み込みます。

図32 (Abb,32)

図のように純正パワーユニット(別売)を使用する場合は加工の必要はありません。

図33 (Abb,33)

重心位置は前縁から 110mm-120mmにしてください。
バッテリーを移動させて調整します。

図34 (Abb,34)

メカ積みの状態です。
Akkuは電池のことです。

キットの箱等を参考にしてシールを貼って完成です。

受信機、スピードコントローラー、バッテリーの搭載

おおまかに重心を合わせ、位置を決めます。
特にバッテリーは飛行中に移動しないようにマジックテープで固定してください。

注意: 受信機のアンテナ線にモーター配線やバッテリー配線を密着させないでください。
ノイズが受信機に混入しやすくなります。

重心位置

重心位置は主翼付け根で前縁から 110mm-120mmです。
重心位置は飛行機にとって、とても重要な要素です。正確に合わせてください。

舵角の設定

エルロン	上下65mm
エレベーター	上下65mm
ラダー	左右90mm
デュアルレート	エレベーター、エルロン 30-50%
エキスポネンシャル	エルロン30% エレベーター50%

シール

本機体の素材はシールののりが付きにくい素材です。
先にエンジンシンナーを布に含ませて拭いて表面を軽く荒らします。
この作業は最大30秒以内に行ってください。

初飛行

注意: この機体は中上級者向けです。
初飛行は無理をせず機体に慣れてください。
風の弱い日に行ない、着陸は、まだバッテリーの残量があるうちに何度かアプローチしておいて余裕をもって着陸します。

株式会社 ハイテックマルチプレックスジャパン <http://www.hitecrd.co.jp>
〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507
電話:050-5519-4989、FAX:03-5767-6301、E-mail:support@hitecrd.co.jp

当製品は改良のために予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。